

■ 地域福祉の課題

(1) 現行計画からの課題

- ① 福祉サービスの適切な利用促進
 1. 総合相談体制の充実
 - ・在宅介護支援センターの機能強化
 - ・障がい者生活支援センターの機能強化
 - ・子育て支援センターの機能強化
 - ・家庭児童相談員・母子自立支援員
 - ・子どもサポートセンターの機能強化
 2. 情報の提供体制の整備
 3. 社会資源ネットワークの整備
 4. 権利擁護体制の確立
- ② 福祉事業の健全な発達
 1. NPOの参入促進
 2. 民間の参入促進・民間委託の推進
 3. 保健、福祉、医療の連携
 4. 住民ニーズの把握
 5. 小規模多機能拠点の整備
 6. コミュニティビジネス支援
- ③ 地域福祉活動への市民参加
 1. ボランティア活動への市民参加の促進
 2. 市民参加のための仕組みづくり
 3. ボランティア情報の提供
 4. 学校での福祉学習の推進
 5. NPOへの市民参加の促進
 6. 社会福祉協議会との連携・小地域ネットワークの充実
 7. 自治会(町内会)との連携
 8. 活動拠点整備
 9. 意識啓発への取り組み
- ④ その他の地域福祉の推進のために
 1. 社会福祉協議会の体制と役割強化
 2. 地域福祉実践計画との連携
 3. 民生委員児童委員との連携
 4. バリアフリーの推進
 5. バリアフリー市営住宅の整備
 6. 大学との連携(研修、講座、イベント)
 7. 防犯・防災対策の推進
 8. 他の福祉計画との連携
 9. 市民参加による計画推進体制の整備
 10. 計画の進行管理

(2) 新たな課題

- ① 災害時要援護者の支援方策の明確化

(3) アンケート調査結果からの課題

- ① 地域で期待されている手助けは、除雪の手伝い、買い物や外出の手伝い、ごみ出しなど、ごく身近な問題です。また、安否の確認、道ばたでの声かけなど、日常の見守りにも期待されており、行政サービスだけではカバーできない部分が出てきています。 ～ (2) 問15
- ② 保健・福祉・医療の連携による専門的なサービスの提供やNPOなど非営利団体の参入が期待されています。 ～ (5) 問20
- ③ 地域で面識をもっている方が93.6%もいることから、これらの人々を町内会・自治会活動など地域活動に参加してもらえような地域での連携が重要と思われる。 ～ (3) 問12, 13
- ④ 今後は、いわゆる団塊の世代が職場生活から、地域生活へ移行してくることが予想されることから、これらの方々の地域活動への参加が期待されます。 ～ (3) 問12, 13
- ⑤ 地域活動を推進するために必要なこととしては、地域での人のつながりが重要という結果になっています。 ～ (4) 問18
- ⑥ 地域活動は、確実に、気軽に継続的に参加し、行われ続けることが重要です。地域住民にできること、地域の資源や特性に応じて、多くの方の関心のあることから始めることが効果的と思われます。 ～ (4) 問16, 17, 18
- ⑦ 誰もが暮らしやすいまちづくりのためのバリアフリー化が求められています。 ～ (5) 問22
- ⑧ 地域活動が見えづらいといったことや、やり方を再考すべきとの意見も出されており、これからの地域活動は、地域のニーズに応じた活動の展開が必要となってきています。 ～ (6) 問23, 24
- ⑨ 避難支援のための情報提供の範囲として、市役所、消防、警察などの行政が中心であり、地域で身近な自治会・町内会はずかであつたこと。 ～ (7) 問25, 26, 27
- ⑩ 自力避難ができないと答えた人の理由としては、よくわからない方が約15%あり、これら情報提供をちゅうちょしている方に、地域における支えあいに対する理解を深める必要がある。 ～ (7) 問25, 26, 27